

## 近現代史(11)「19世紀イタリアの統一 ～リソルジメント～」

### 0. 19世紀イタリアの状況



#### ○[① サルデーニャ王国]

・イタリアを統一することになる国。1720年、サヴォイア家がサルデーニャ島を領有して成立した北イタリアの小王国。都はピエモンテ地方のトリノ。

#### ○V S [② オーストリア]

・ナポレオン戦争後のウィーン会議で**ロンバルディア**と**ヴェネツィア**を獲得。

#### ○V S [③ 両シチリア王国]

・ナポレオン戦争後、正統主義により復活したブルボン家がナポリ王国とシチリア王国を統合。

#### ○V S [④ ローマ教皇領]

・ナポレオン戦争後のウィーン会議で復活。フランスの守備隊に守られている。

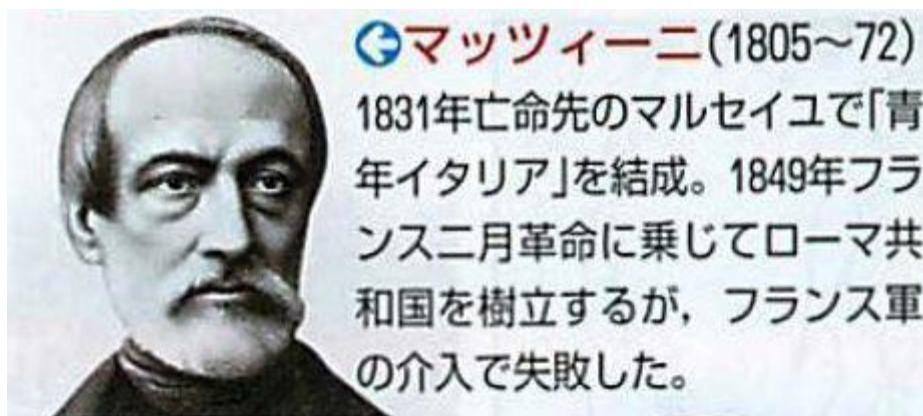
### 1. 自由主義運動

#### ○[⑤ カルボナリ]

- ・炭焼党。19世紀初頭に南イタリアで結成された秘密結社。イタリアの独立と統一、自由主義的改革を目的とした。
- ・1820年[⑥ ナポリ]蜂起、1821年[⑦ ピエモンテ]蜂起 → 失敗
- ・[⑧ 1830]年 七月革命の影響で蜂起 → 失敗、組織解体

#### ○[⑨ 青年イタリア]

- ・1831年、[⑩ マッツィーニ]が亡命先マルセイユで結成した政治結社。カルボナリの活動を継ぎ、共和主義に基づくイタリアの統一を目指した。
- ・1849年、[⑪ ローマ共和国]樹立。二月革命の波及を恐れた教皇ピウス9世がローマを脱出したので、マッツィーニらの「青年イタリア」が共和国を建設した。だがフランス軍の干渉で倒れた。



## 2.サルデーニャ王国による統一運動

【12 カルロ=アルベルト】(位 1831~1849)

○1848年 二月革命の影響で【13 オーストリア】に宣戦するも敗北して退位



【14 ヴィットーリオ=エマヌエーレ 2 世】(位 1849~61) → イタリア国王(在位 1861~78)

○1849年即位



○1852年 サルデーニャ首相に【15 カヴール】が就任。



○1855年 【16 クリミア戦争】参戦

・英仏土側に立って参戦。国際的地位を高めてナポレオン 3 世との好感度を上げた。

○1858年 【17 プロンビエール密約】

・ナポレオン 3 世とカヴールの間で交わされた。サルデーニャが【18 サヴォイア・ニース】を割譲する代わりに、フランスはサルデーニャの対墺戦争を支援するという約束。

○1859年 【19 イタリア統一戦争】

・イタリア統一をめぐるサルデーニャ・フランスの対墺戦争。サルデーニャが連戦連勝したためナポレオン 3 世は自国の南に強大な統一国家が出来上がることを怖れて、ヴィラフランカの講和を結んで撤兵した。

・サルデーニャは【20 ロンバルディア】を獲得するにとどまった。

○1860年 【21 中部イタリア】併合

・トスカナなどの諸邦がサルデーニャへの合併を希望。カヴールはナポレオン 3 世と交渉して、プロンビエール密約でイタリア統一戦争の協力の代償としていたサヴォイアとニースを割譲することで、合意を取り付けた。

○同年 【22 両シチリア王国】征服

・青年イタリアの【23 ガリヴァルディ】、【24 赤シャツ隊】を率いて両シチリア王国占領

○1861年 【25 イタリア王国】成立(除; ヴェネツィア・教皇領) 首都: トリノ⇒フィレンツェ⇒ローマ

・ガリヴァルディが占領地をサルデーニャ王国に献上。サルデーニャ王ヴィットーリオ=エマヌエーレ 2 世がイタリア王国の初代国王となって成立した。

○1866年 【26 ヴェネツィア】併合

・【27 普墺戦争】にプロイセン側で参戦。  
⇒プラハ条約でオーストリア領ヴェネツィアを回収した。

○1870年 【28 教皇領】占領

・【29 普仏戦争】でフランスが敗北して撤兵したため、ローマに入城。  
⇒ローマ教皇はこれに反発して「30 ヴァチカンの囚人」と称して対立を続ける。  
Cf.1929年ムッソリーニが【31 ラテラン条約】で和解 ⇒ ヴァチカン市国成立

【未回収のイタリア】

○【32 南チロル】…オーストリア西部の山岳地帯。14 世紀以来ハプスブルク家領だった。第一次世界大戦後にイタリア領。

○【33 トリエステ】…アドリア海北東岸の港市。14 世紀以来オーストリア領だったが住民の 4 分の 3 はイタリア人。第一次世界大戦後にイタリア領。

